

【Turbo HAMLOG (ハムログ,JG1MOU 作成) で入力したコンテストログデータを E-LOG MAKER (JARL 頒布) に変換し、電子ログとして提出する方法】

(はじめに)

多くのハムに愛用されている Turbo HAMLOG (ハムログ) に入力したコンテストのログデータを、電子ログとして提出する方法は、そんなに難しいことはありません。

パソコン操作に慣れていない場合には方法が分からず、やむなく従来どおり手書きにしてみようのではないのでしょうか。

手書きログは転記誤りも避けられませんし労力も大変ですので、以下に示す手順で、JARL 頒布のコンテストログ E-LOG MAKER にデータを取り込み、E メールでコンテストログ・サマリーシートを簡単に JARL に送付することができます。(この手順書を印刷して、手元に置きながら順番に作業してください。)

電子ログでコンテストログ・サマリーを提出することは、JARL コンテスト委員会の審査の迅速・正確性にも寄与することにもなりますので、難しく考えずに是非チャレンジしてみてください。実際にやってみると、なんと簡単なことかと驚嘆していただけるとともに、空いた時間をワッチやオンエアの時間に充てていただくことも出来ますよ。Hi ぜひチャレンジしてみてください。

1. (コンテスト時の注意点)

まず始めの注意することとして、コンテストの QSO をハムログに入力する時に、Remarks1 または Remarks2 の 1 文字目から、交信相手からのコンテストナンバー (59,599 を除く) を、**半角**で入力しておいてください。(例えば、全市全郡コンテストであれば、市郡区ナンバー＋空中線電力の記号。110116M など)

2. (変換する前にメモを)

- ① ハムログのコンテストデータの範囲 (Date / Time) をメモしておいてください。コンテスト以外の QSO があっても構いません。後で削除すれば OK です。
- ② また、ハムログ Thw ソフトが保存されている場所 (フォルダ名) をメモしておいてください。(例えば、d ドライブ-My Documents-ハムログ Thw など)

3. (E-LOG MAKER で自局の設定)

- ① E-LOG MAKER を立ち上げ、まず、「ファイル」「ログの新規作成」をクリックしてください。「データ入力」画面が現れますので右上の×をクリックして、ひとまず消しておいてください。
- ② 「設定」「電子ログの設定」をクリックし、「参加コンテストの設定」タブで、コンテストの名称を選んでクリックして「変更」ボタンをクリック。「参加部門」を選んでクリックしてください。
- ③ 「無線局免許者の設定」タブをクリックし、「コールサイン」「局免許者の氏名」を入力、「局免許者の無線従事者資格」の右下矢印▼をクリックし選択。「E-メールアドレス」「連

絡先」「電話番号」等を入力してください。

- ④ 「無線局の設定」タブをクリックし、電力・運用地、使用した設備などのデータを入力してください。
- ⑤ 「送信ナンバーなどの設定」タブをクリックし、「コンテストでの送信ナンバーの設定」のナンバーなどを入力して、下の「空中線電力の記号」で運用した各バンドでの電力コードの下矢印▼をクリックして選択してください。下の「OK」ボタンをクリック。
※「必須事項の確認」をしたい場合は、「表示」「電子ログ必須記入事項確認」をクリックして確認することが出来ます。修正したい場合は、下のほうの「設定フォームを開く」ボタンをクリックすると、先ほどの設定画面が開きますので、修正してください。

4. (読込データの設定)

- ① E-LOG MAKER の「設定」「ターボハムログの設定」をクリックし、「データ変換の設定」ダイアログで、「ターボハムログの読込設定/データベースの設定」タブをクリックし、「ターボハムログの読込設定」で、交信相手からのコンテストナンバーがハムログの Remarks1 に入力されている場合は、「コンテスト受信レポートを備考1から取得する」にチェックマークを付けます。Remarks2 の場合は「備考2から取得する」にチェックマークを付けます。
- ② 「ターボハムログデータベースファイル」の「参照」ボタンをクリックし、2. ②でメモしたハムログ Thw フォルダの「Hamlog.hdb」ファイルを指定して、「OK」ボタンをクリックします。
これで事前の取り込み設定作業が終わりました。

5. (ハムログからデータを読み込む)

- ① さて、いよいよハムログからデータを E-LOG MAKER に取り込みます。
「ファイル」「ターボハムログを開く」をクリックし、ハムログが起動していたら終了させた後、「OK」ボタンをクリックします。
- ② 「ターボハムログ読込日時設定」画面で、最初にメモした DATE / TIME を、「読込開始日時」「時 分」の上矢印▲ 下矢印▼で変えて設定してください。
「読込終了日時」「時 分」も同じように設定してください。
- ③ 「備考欄から読込む最大文字数」で、コンテストナンバーの最大文字数を上矢印▲ 下矢印▼で変えて設定してください。(例えば、全市全郡コンテストであれば最大7文字)
- ④ 「開始」ボタンをクリックすると、ハムログからデータが E-LOG MAKER に取り込まれました。
- ⑤ いかがですか。マルチ・ポイント・デュープの欄が自動的に入力されていますね。「表示」「サマリーシート」をクリックして、得点計算されたサマリーシートが見れますので確認してください。
データでおかしな箇所はありますか。コンテスト以外の QSO がありましたら削除してください。削除する方法は、そのデータの上でクリックすると青色になりますので、その状態で「編集」「データ削除」をクリックすると削除されます。
また、修正箇所がありましたら、そのデータをダブルクリックするとデータが現れますの

で修正して「登録」ボタンをクリックして、「終了」または「×」ボタンをクリックしてください。

- ⑥ ここで一旦処理を終了し、変換されたデータが消えないように保存します。

「ファイル」「名前をつけて保存する」をクリックし、「2014 ALL JA」などと適当な名前を入力し保存してください。(ファイル拡張子は、.elg です)

6. (電子ログ作成と送信)

- ① 「ファイル」「電子ログ作成と E-メール送信」をクリックし、まずテストメールでチェックしてください。「テストメールアドレス logtest@jarl.org」の「電子ログを作成してから JARL のテストメールアドレスへ送信する」にチェックを入れて、意見欄・局免許者の署名欄を記入し、「電子ログ作成」ボタンをクリックします。(※意見欄には、マルチオペの場合の運用者のコールサイン若しくは氏名、ジュニア、シルバーの場合の年齢を入力してください。)

- ② 電子ログファイル (.emg) に「2014 ALL JA」などと適当なファイル名を付けて保存してください。

- ③ 保存するとメモ帳が開き、作成された電子ログの内容を見ることが出来ますので、確認してください。(ここで、修正したい箇所があれば修正することができます。)

- ④ 「E-メール送信の確認」ダイアログボックスで「OK」ボタンをクリックすると電子ログが送信されます。ほどなくメールが届きますので正常に受付されたかどうか確認してください。

- ⑤ テストメールが正常に送信され、返信メールが正常に届いたら、いよいよ今度は正式に電子ログを送信します。

「ファイル」「電子ログ作成と E-メール送信」をクリックし、今度は「コンテストメールアドレス」「電子ログを作成してから JARL へ E-メールで送信 (提出) する」にチェックマークを入れて、意見欄・署名欄を入力し、「電子ログ作成」ボタンをクリックします。(※意見欄には、マルチオペの場合の運用者のコールサイン若しくは氏名、ジュニア、シルバーの場合の年齢を入力してください。)

- ⑥ 電子ログファイル (.emg) は既に保存されていますので、同じ名前にして上書き保存し、「E-メール送信の確認」ダイアログボックスで「OK」ボタンをクリックすると電子ログが正式に送信されます。

ほどなくメールが届きますので、正常に受付されたかどうか確認してください。なお、数時間後にコンテスト電子ログ受付リストにコールが掲載されますので、提出内容の最終確認をお願いします。(もし内容を修正したい場合は、修正してから再度電子ログを送信してください。後から提出したほうが有効となります。)

以上で全ての作業は終了しました。お疲れさまでした。空いた時間は有効にご活用ください。VY TNX, GL TEST, 73&88.

(2011.10.16 作成/2014.8.11 修正)